

# 終活スゴロク（仮）簡易盤～感染症対策バージョン～

## ルール説明

このスゴロクは60代からスタートしてサイコロを振ってマスを進み、80歳以上までのシニアの生活を体験しながらゴール（健康長寿国への入国）を目指すゲームです。早上がりの勝負ではなく、最終的に健康長寿国金行券（単位：ケンコ）を多く貯めた人の勝ちになります。

健康長寿国では「からだ、こころ、おつきあい」を主とした心身の健康と「支え合い」のある地域の暮らしとても大切にしています。そこで、心身の健康や支え合いに良いマスでは、国王からケンコ（健康長寿国金行券）が貰え、逆に心身の健康に良くなかったり、支え合えなかったマスではケンコが没収されます。ケンコは、稼いだり、支払ったり、お金のように使う場面もあり、これらのやりとりの中で、ケンコを貯めていきます。またゴール時には早上がりの着順に応じた賞金が設定されていますので、ゆっくり進んでプラスのマスに多く止まるか、早く上がって賞金をもらうかなど、最後まで勝負はわかりません。

今回は通常盤をアレンジした感染症対策用のゲームを用意しました。触れ合わないことで手間が増えますが、協力しあって楽しみましょう。

## 手順

### ◇1人1つのサイコロを用意する場合

#### 0.準備するもの

- プレイヤー（推奨4人）
- ・個人用ゲーム盤（1人1枚）
- ・サイコロ（1人1つ）
- ・あるあるお話タイムカード（各3枚/4人プレーの場合）
- ・コマ（必要）※ペットボトルキャップなどを使用
- ・入国審査票
- ・筆記用具

#### 1.スタート前

ソーシャルディスタンスなどの基本的な感染症対策をして、なるべくプレイヤー同士の顔や手元が見えるようにセッティングします。まずは入国審査票に今日の日付と名前を書き、プレーの順番をじゃんけんなどで決め、個人用ゲーム盤のスタート位置に自分のコマを置きます。また手元に「あるあるお話タイムカード」とサイコロを用意しておきます。

#### 2.ゲーム中

順番の1番の人は手持ちサイコロを振り、出た目の数を宣言して、自分のゲーム盤のコマを進めます。そこで何番に止まったかと、マスの内容を読み上げます。プレイヤーは入国審査票にマスNOを書き、ケンコの増減がある場合は+-欄に記入します。これを2番目以降の人も同じように繰り返していきます。

※他のプレイヤーのコマの位置も把握できるように、「鉛筆で印をつける（コマが後ろに戻ることはありません）」or「余裕があれば人数分のコマを用意する」などすると良いでしょう。

■「ハプニング」マスに止まったら、基本的に、通常マスと同じです。

■「あるあるお話タイム」マスに止まったら、マスに止まった人は、右隣の人の持つあるあるカードから1枚選びます（ババ抜き的要領で提示してもらい、「真ん中」などと指定してください）。右隣の人がそのカードを引いて読み上げます。止まった人から順に、参加者全員にお題について話してもらいます。話をしてくれた人には参加費がありますので、票にマス番号と金額（1000ケンコ）を記入します。

※使ったカードは避けておいてください。

※もし話をしたくない場合はパスできます（ケンコはもらえません）。

#### 3.ゴール後

早上がりの3位までは賞金がありますので、マスNO欄に「ゴール」と書いて順位に応じたケンコを+欄に書き込んでください。ゴールした人はゲーム終了ですが、「あるあるタイム」には参加可能です（参加費がもらえます）。全員ゴールをしたら、審査票に精算をして勝敗を決めます。

【着順賞金】 1位10,000ケンコ 2位 6,000ケンコ 3位 3,000ケンコ

## ◇サイコロカードを使用する場合

### 0.準備するもの

#### ■プレイヤー（推奨4人）

- ・個人用ゲーム盤（1人1枚）
- ・サイコロカード
- ・あるあるお話タイムカード12枚（各3枚/4人プレーの場合）
- ・コマ（必要）※ペットボトルキャップなどを使用
- ・入国審査票
- ・筆記用具

### 1.スタート前

ソーシャルディスタンスなどの基本的な感染症対策をして、なるべくプレイヤー同士の顔や手元が見えるようにセッティングします。まずは入国審査票に今日の日付と名前を書き、プレーの順番をじゃんけんなどで決め、個人用ゲーム盤のスタート位置に自分のコマを置きます。また手元に「あるあるお話タイムカード」と「サイコロカード」を用意しておきます。

### 2.ゲーム中

順番の1番の人は右隣のプレイヤーが持つサイコロカードから1枚選び（ババ抜き的要領で提示してもらい、「左から2枚目」などと指定してください）、右隣のプレイヤーが選ばれたカードを本人に提示し、数を伝えます。プレイヤーは、出た数だけ自分のゲーム盤のコマを進め、何番に止まったかと、マスの内容を読み上げます。プレイヤーは入国審査票にマスNOを書き、ケンコの増減がある場合は+-欄に記入します。これを2番目以降の人も同じように繰り返していきます。※他のプレイヤーのコマの位置も把握できるように、「鉛筆で印をつける（コマが後ろに戻ることはありません）」or「余裕があれば人数分のコマを用意する」などとすると良いでしょう。

■「ハプニング」マスに止まったら、基本的には、通常マスと同じです。

■「あるあるお話タイム」マスに止まったら、マスに止まった人は、右隣の人の持つあるあるカードから1枚選びます（サイコロカードと同様）。右隣の人がそのカードを引いて読み上げます。止まった人から順に、参加者全員にお題について話してもらいます。話をしてくれた人には参加費がありますので、票にマス番号と金額（1000ケンコ）を記入します。

※使ったカードは避けておいてください。

※もし話をしたくない場合はパスできます（ケンコはもらえません）。

### 3.ゴール後

早上がりの3位までは賞金がありますので、マスNO欄に「ゴール」と書いて順位に応じたケンコを+欄に書き込んでください。ゴールした人はゲーム終了ですが、「あるあるタイム」には参加可能です（参加費がもらえます）。全員ゴールをしたら、審査票に精算をして勝敗を決めます。

【着順賞金】 1位10,000ケンコ 2位 6,000ケンコ 3位 3,000ケンコ